



久しぶりの楽しい交流

(6月15日)

市民体育館で3年ぶりにシニアクラブ裾野のスポーツ大会が行われました。久々に集まったクラブ員は「お元気でしたか」など、お互いに声を掛け合って久々の楽しい交流をしていました。

「西三」ブロックが2大会連続の優勝、準優勝は「東三」ブロック、第三位は「深良」ブロックでした。

特派員：小林 建次

新しい技術を肌で感じる授業

(6月17日)

富岡第二小学校で、小学5・6年生を対象にしたドローン教室が行われました。

講師の勝又さんからは「ただドローンを飛ばすだけでなく、新しい技術を体験し、どう活用するかを皆さんに考えてほしい」と話がありました。

初めて操縦するにも関わらず、児童はとても上手にドローンを操縦していました。



地域で発掘された縄文土器に触れる

(6月23日)

富岡第一小学校の6年生社会科の授業で、生涯学習課職員による出前授業が行われました。

学区内の「下条遺跡」から出土した本物の縄文土器などに触れ、時代の違う土器の色や厚さ、模様、土器がどのように使われたのだろうかと思いに想像を膨らませ、グループ内で活発に話し合っていました。

ファイゴンサブレなどの 収益で地域に貢献

(6月24日)

裾野高校の生徒と同校のマスコットキャラクターのファイゴンが、地域のイベントなどで得た収益を市の社会福祉事業へ役立ててほしいと市長を表敬訪問し、寄付の贈呈を行いました。

ボランティア部の代表生徒は「様々なイベントに参加し、楽しく地域貢献できると実感しました。今後も継続的に活動していきます」と話しました。





**みらいの子どもたちのために
学校再編を考える**

(6月25日)

富岡地区学校再編地域意見交換会が、富岡コミセンで行われました。この意見交換会はこれまでも80回以上開催されていて、市全体で課題を解決するための「学校教育施設再編基本計画」策定を目指しています。

富岡地区の再編の可能性についての説明に対し「小規模特認校とはどのような学校なのか」「統合時のスクールバスは」などの意見がありました。

いつも あなたのすぐそばに (6月26日)

地域に飛び出す市長室が、市民文化センターで行われました。この取り組みは、地域のイベント・会合・学校行事・授業など、あらゆる年齢層の市民が集まる場所に臨時市長室を設置し、多くの市民の声を市長が直接伺うものです。

月に1回程度開催予定です。みなさんの想いを聞かせてください。



**未来へつなげよう、広げよう、
裾野の文化**

(6月26日)

市文化協会創立50周年記念式典が、市民文化センターで開催されました。

第一部の式典の厳かな雰囲気の後、第二部では創作ステージが行われました。祖父と孫との会話を通して、市の文化や芸術の歴史を振り返るという内容。歌や踊り、楽器演奏、詩吟、書道、昔の遊びなども登場し、会場からは大きな拍手が起こっていました。

富士登山の安全を祈願 (7月1日)

須山浅間神社で、富士山須山口登山道開山式が行われました。

須山浅間神社は須山口登山道の起点で、富士登山の安全を祈願して開山式は行われます。安全祈願祭では厳かな神事が行われ、晴れ上がった空と古林に祝詞が響き渡りました。

特派員：杉本 武満

